

## 槇原敬之

色褪せない名曲で綴る時間旅行に  
“あの頃”の笑顔と涙がよみがえる

3月から始まったロングツアーも今夜で52本目、残すところあと8本というまさに終盤戦だ。“TIME TRAVELING TOUR”と銘打たれた今回のツアー、“昔の曲を聴きながら当時の気持ちになってもらおう”ということで、客席からは「何が聴けるんだろう？」と、セットリストを予想する声が聞こえてくる。そんななか宇宙旅行のような映像とアナウンスが流れると、光に包まれるなか、槇原が登場！先制パンチよろしく『まだ生きてるよ』のサビ始まりで、思わずソワツと鳥肌が立ち、ライブはスタート!! 1曲目から手拍子と「FuU、FuU」の掛け声も起きて、会場はスタンディングのハイテンション。続く『HOME WORK』でもクラブが鳴り、2曲で既に“心は90's”といったところだ。だが怒涛の名曲ラッシュは続き、『冬がはじまるよ』『もう恋なんてしない』『僕が一番欲しかったもの』の強力3連投では、今も思わず口ずさめてしまう秀逸なメロディーに、彼のメロディーメーカーとしての才能を再確認。さらには、その歌声も当時以上のパワーを感じさせ、またパーソナルから大きな世界への詞の変遷は彼の歴史を物語っていた。一方、MCでのバンドメンバーとの掛け合いは、口



## SET LIST

01. まだ生きてるよ
02. HOME WORK
03. 冬がはじまるよ
04. もう恋なんてしない
05. 僕が一番欲しかったもの
06. スル休み
07. まだ見ぬ君へ
08. NG
09. ANSWER
10. 君は僕の宝物
11. チキンライス
12. 彼女の恋人
13. SPY
14. メドレー (GREEN DAYS / ムゲンノカナタへ～To infinity and beyond～ / LUNCH TIME WARS / どうしようもない僕に天使が降りてきた / 超える。 / 世界に一つだけの花)
15. 太陽
16. Such a Lovely Place

## ENCORE

01. 遠く遠く
02. どんなどきも。

ングツアーならではのアットホームな空気感満載で、観ている方も一員になった気分に。

「あまりコンサートで歌われなかった曲なんですけど…」と披露された『スル休み』。“留守電の点滅”のワードに時代を感じつつ、『まだ見ぬ君へ』では愛を探し求める日常を描写。何気なく綴られたその詞の中に込められた想いは、時を経てスッと心に浸透して琴線に触れる。しかもデビュー曲『NG』までセレクトされ、長年のファンには“たまらない!”のひと言。加えて「日々の何気ない話をしようと思います」と、家族とのLINEのやりとりや、「自分

分は自分と決まって生まれてきたんやろうな」と笑いを交えながら人生観を語るMCは、リリースツアーにはない今回だけの“お楽しみ”だ。そしてここからより深く潜るように弾き語りへ。ピンスポットの下で『ANSWER』を響かせる姿はまるで絵画のよう。アカペラでも訴えかけ、息遣いさえ聞こえてきそうなくらいの静寂が訪れる。またギターと共に3人で披露した『君は僕の宝物』、そして名曲『チキンライス』へと続けば、目頭がジンと熱くなるのは必然だ。

しかし、後半戦に突入すると打って変わって“攻め”。『彼女の恋人』では鋭いギターを引き連れドラマチックに“マッキー節”を炸裂。『SPY』ではザクリと切り込む中毒性高い大サビで温度を急上昇させ、『GREEN DAYS』からはメドレーでダメ押しへ

!! 途中『どうしようもない僕に天使が降りてきた』では白い羽が降ってくる演出で異空間にすると、最後は国民的ナンバー『世界に一つだけの花』で大団円! このメドレーを聴いただけでも今日、足を運んだ価値十分。

そんな沸き立った会場の雰囲気ラストに向け変えたのは『太陽』。舞台からは日光が差し込むように光が放たれ、心の叫びに似た強い言葉が温かくも揺るぎない歌声と鼓動のようなビートに乗って胸の奥に届けられる。そして迎えた最後の曲は『Such a Lovely Place』。縦笛のイントロはまるで森の中のような空間を作り、美しく切ないメロディーが大スケールで会場いっぱい広げると、ノーマイクで思いを歌に託す。まるで映画のワンシーンのような光景で本編は終わりの時を迎えた。

だが、観客の震えたハートは“マッキー”と名を呼ぶ声になってアンコールへ! 再登場すると「アンコールは楽しくやりたいと思うんで!」と、『遠く遠く』から。瑞々しく青いナンバーは2018年の今、涙ではなく笑顔を誘う曲としてプレイされ、バンドメンバーの肩に手を乗せて取るボーカルにほっこり。そして「このイントロが流れて来ました!」というひと言からオーラス、問答無用のキラーチューン『どんなどきも。』! 歌い出しから観客は大合唱で、まさに最高潮のまま、この日のライブは終了した。約2時間の“時間旅行”。そこにあったのは、幸福感で満たされ、あふれんばかりのビッグスマイルを生んだ、彼と旅したパーフェクトな時間だった。☺

